



令和5年3月1日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

快挙！

愛知県広報コンクール「映像部門」
山川豊改め豊川豊として初受賞！

令和4年度愛知県広報コンクール「映像部門」において、豊川市制施行80周年記念PR映像が「奨励賞」を受賞しました。豊川市として映像部門での受賞は、今回が初めてとなります。そして、映像の中で豊川市をPRしていただいている歌手の山川豊さん改め「豊川豊」の作品としても初の受賞となりました！

この受賞を契機に、現在展開中の「豊川って、豊かだ」キャンペーンをさらに加速させていきます。内容については下記のとおりです。

記

1 映像名

豊川市制施行80周年記念PR映像「プロローグ」編



映像はこちら

2 内容

映像では実在する市職員が出演し、歌手の山川豊さんに「豊川豊」に改名して市制80周年のPRを依頼します。これに加えて6本の短編映像を通じて、山川さんが市職員の説明や市民とふれあいながら豊川市の魅力を知っていき、豊川豊になることを決意していくストーリー仕立てとなっています。

さらに続編として、先月発表したオリジナルソング「豊川、豊か」ミュージックビデオも絶賛公開中です。



ミュージック
ビデオはこちら

3 プロフィール

山川豊(やまかわゆたか)

三重県鳥羽市出身。現在は愛知県の事務所に所属する。
1981年「函館本線」で東芝 EMI(現ユニバーサルミュージック)からデビュー。1986年「ときめきワルツ」で NHK 紅白歌合戦初出場。
1998年発売の「アメリカ橋」が大ヒットを記録、その後発売となった「ニューヨーク物語り」「霧雨のシアトル」のアメリカ3部作が話題となる。
デビュー年の各新人賞のほか、古賀政男記念音楽大賞、日本歌謡大賞放送音楽賞、日本作詩大賞など、数多くの音楽賞を受賞。



豊川豊

歌手・山川豊が一念発起して改名。
豊川市の豊かさを全国に向けて発信する。
髪色は、豊川市が出荷量日本一を誇る「バラ」の色。
さらに胸元の赤と緑のハンカチーフも、豊川名産の「イチゴ」と「大葉」がモチーフになっているなど、
豊川の名物が随所に散りばめられた、こだわりの衣装を着用。
“豊かさ”を感じると、「豊かだ～」という音声を発する「豊かだ～」ボタンを押す



4 添付資料

- ・令和4年度愛知県広報コンクール結果一覧
- ・審査講評(豊川市)
- ・豊川市広報コンクール受賞歴

【お問合せ先】

豊川市役所 企画部 秘書課 広報広聴係 杉本・保手濱
TEL:0533-89-2121 Eメール: info@city.toyokawa.lg.jp

令和4年度愛知県広報コンクール結果一覧

1 応募点数

(1) 広報紙部門	
ア 市部	24点
イ 町村部	5点
(2) 広報写真部門	
ア 一枚写真	46点 (30市町)
イ 組み写真	28点 (19市町)
(3) 映像部門	17点
	計 120点

2 審査員 (敬称略)

愛知県立芸術大学美術学部教授	さとう なおき 佐藤 直樹
中部写真記者協会事務局長	さめしま ひろき 鮫島 弘樹
中部映像関連事業社協会	しばやま なおき 柴山 直輝
中日新聞社編集局整理部デスク	たなか あつし 田中 篤至
愛知県政策企画局広報広聴課長	たかぎ けんいち 高木 健一

3 入賞作品

部門	賞	作品名	市町村名	
広報紙	市部 (24)	特選	「広報おおぶ」2022年12月号	大府市
		入選	「広報にしお」2022年11月号	西尾市
			「広報こまき」2022年11月1日号	小牧市
			「広報ちた」2022年11月号	知多市
			「広報たはら」2022年11月号	田原市
	奨励賞	「広報とよた」2022年9月号	豊田市	
	町村部 (5)	特選	「広報ひがしうら」2022年9月号	東浦町
		入選	「広報たけとよ」2022年11月号	武豊町
			「広報こうた」2022年9月号	幸田町
広報 写真	一枚写真 (46)	特選	「広報にしお」2022年11月号 6～7ページ	西尾市
		入選	「広報あんじょう」2022年1月号 表紙	安城市
			「広報おおぶ」2022年5月号 表紙	大府市
	奨励賞	「かりや市民だより」2022年4月1日号 表紙	刈谷市	
	組み写真 (28)	特選	「広報おおぶ」2022年12月号 4～5ページ	大府市
		入選	「広報とよはし」2022年2月号 表紙	豊橋市
			「広報にしお」2022年9月号 2～3ページ	西尾市
奨励賞		「広報一宮」2022年9月号 表紙	一宮市	
映像 (17)	特選	扶桑町制施行70周年記念プロモーションムービー	扶桑町	
	入選	ビデオ広報かりや「災害でトイレが使えない！？～整備すすむマンホールトイレ～」	刈谷市	
		My Daily Life at INUYAMA	犬山市	
	奨励賞	豊川市制施行80周年記念PR映像「プロローグ」編	豊川市	

* () は応募点数。

* 広報紙（市部・町村部）部門、広報写真（一枚写真・組み写真）部門、映像部門の各特選作品を全国広報コンクールへ推薦。

奨励賞

豊川市制施行 80 周年記念 PR 映像「プロローグ」編 豊川市
(<https://youtu.be/evW1GS1g8Wk>)



収録時間	制作費	年間制作本数	放映方法
38 秒	4,999,999 円 (年間)	8 本	インターネット

◇ 審査講評《柴山審査員》

私は審査のためにこの作品を観ましたが、すでにネットニュースで豊川市が展開するキャンペーンの話題を知っていました。演歌歌手の山川豊さんが改名!?!との見出しに思わず記事をタップしたのです。果たして山川豊さんが豊川豊さんになるのか、この振り切った企画を採用した豊川市の担当者の皆さんの判断は素晴らしいと思います。

40 秒に満たないプロローグ編には、改名をお願いされて困惑する山川さんの表情や意味不明なピンクのかつら、それに押せば「豊かだー!」と音が出るボタンといった具合にギャグ感が満載なのです。困惑する山川さんの間（ま）やラストカットの山川さんのカメラ目線に思わず口元が緩んでしまいます。

しばらくすると私の頭の中でいろいろな疑問が湧き出てきました。もし山川豊さんをご存じない方が観たら意味が分かるのか? いやひょっとして駄洒落として成立しているのかも? と考えてしまいました。さらに山川さんに改名を依頼するふたりの職員は実在の職員なのか? ひょっとしたら素人っぽい演技をしているのか? これが演出だったらすごいな? とか疑問と想像がぐるぐる巡るのです。私の思いを綴りましたが、分かりづらくてすみません。百聞は一見にしかずと言うことで、映像をご覧いただければと思います。

観る人の気持ちが動く、これはこの作品の力だと感心しきりになりました。謎のかつらやボタン、そして山川豊さん自身がどうなるのか? この後の展開が気になり、次作が観たくなる素晴らしいプロローグ編でした。

広報コンクール
受賞歴一覧

豊川市広報コンクール受賞歴

	広報		ウェブサイト		一枚写真		組み写真		映像		広報企画	
	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国	県	国
平成4年	入選				入選							
平成5年					特選							
平成6年					入選							
平成7年					入選							
平成8年	入選				入選							
平成9年	入選											
平成10年	入選				入選							
平成11年	入選											
平成12年	特選				入選							
平成13年	入選						入選					
平成14年	特選	一席										
平成15年	入選											
平成16年	入選											
平成17年	入選											
平成18年	入選		入選									
平成19年	入選											
平成20年												
平成21年												
平成22年												
平成23年												
平成24年												
平成25年			特選								入選	
平成26年	特選											
平成27年	入選		入選									
平成28年	特選		特選									
平成29年	入選		奨励賞									
平成30年	入選		奨励賞		入選							
令和元年			奨励賞									
令和2年	入選											
令和3年												
令和4年									奨励賞			

	広報	ウェブサイト	一枚写真	組み写真	映像	広報企画
県奨励賞	0	3	0	0	1	0
県入選	15	2	7	1	0	1
県特選	4	2	1	0	0	0
国受賞	1	0	0	0	0	0